

- 1号機においては、遠隔操作ロボット（以下、水中ROV）による原子炉格納容器（以下、PCV）内部調査に向け、2019年4月8日から2021年10月14日にかけて、水中ROVをPCV内へ投入するルート構築作業等を行いました。
＜2021年11月25日までにお知らせ済み＞
- 11月5日から、1号機原子炉建屋1階西側において、水中ROVをPCV内に投入するための装置（図1参照）の設置作業等を進めてまいりました。
- 本日（12月16日）、これらの作業が完了したことから、明日（12月17日）、水中ROVがPCV側に円滑に投入できることの動作確認作業を行います。
- 動作確認作業にあたっては、当該作業の間、PCV内外を隔てる隔離弁を開けることから、ケーブルドラム及びシールボックスの接合部や、隔離弁とグローブボックスの接合部においてPCVの閉じ込め機能を確保した上で、作業エリアのダスト濃度及びPCVの圧力等を適切に監視しながら、作業を進めてまいります。
- 来年（2022年）1月中旬のPCV内部調査開始に向け、引き続き、安全を最優先に慎重に作業を進めてまいります。

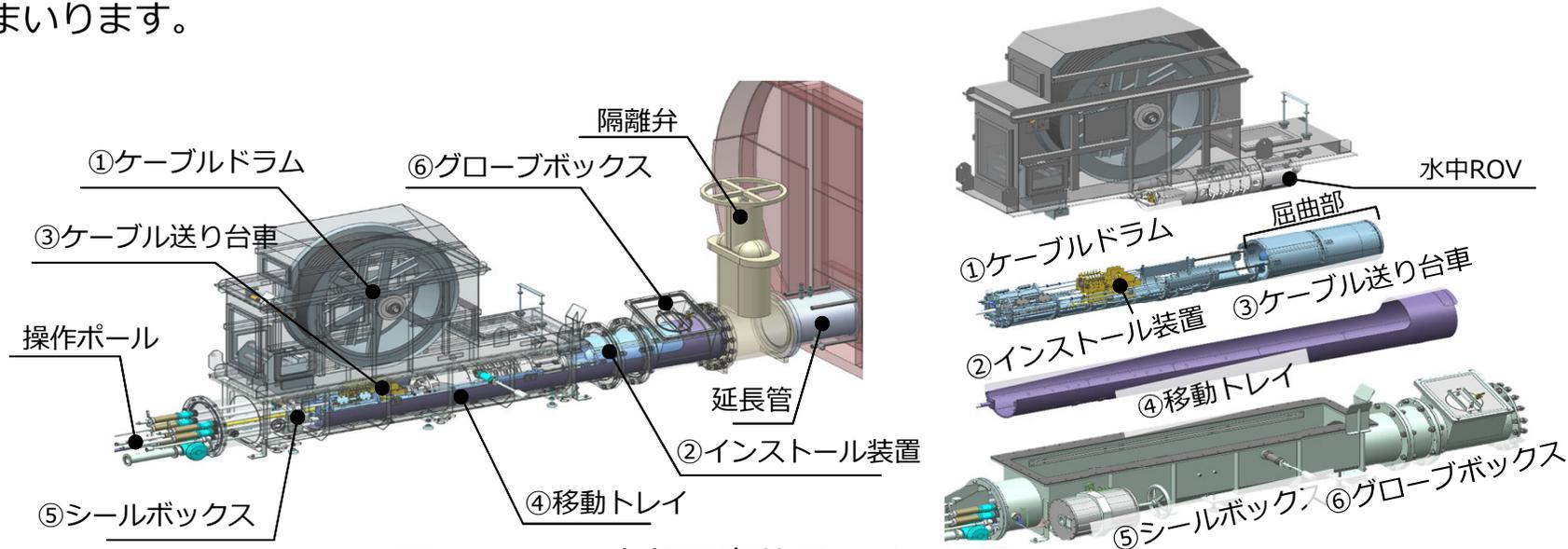
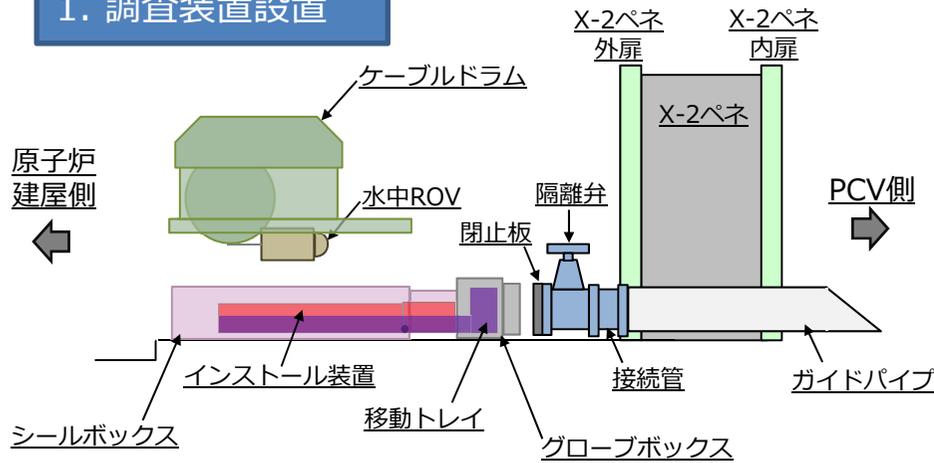


図1. PCV内部調査装置イメージ図

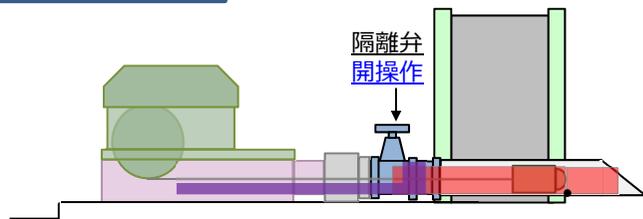
【参考】原子炉格納容器内部調査の主な作業ステップ

1. 調査装置設置



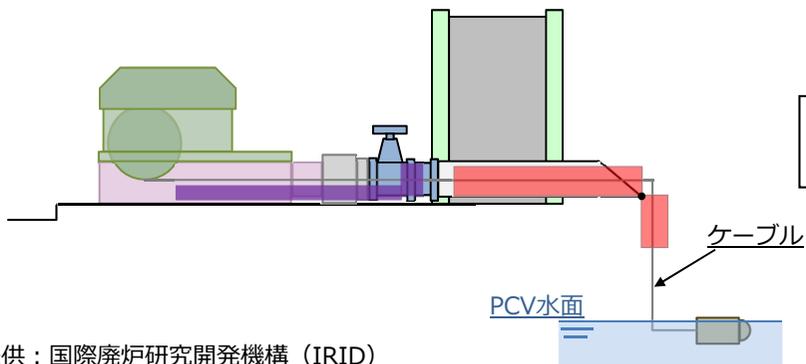
2. 水中ROV投入

(動作確認: 12/17)



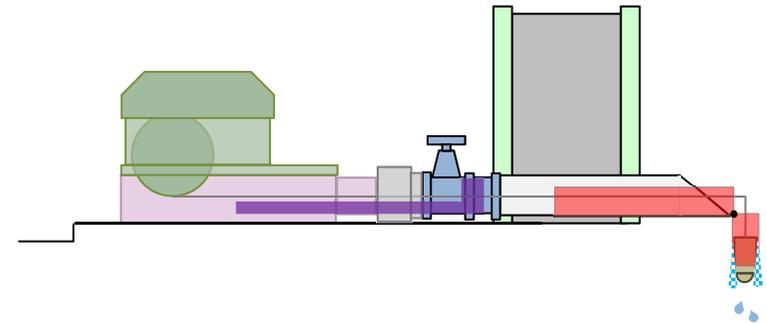
3. PCV内部調査

(2022年1月中旬以降)

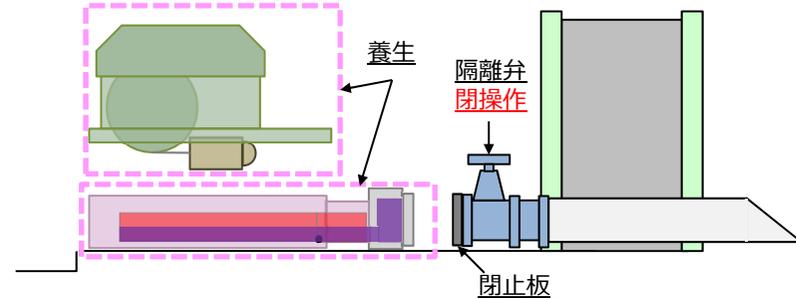


資料提供: 国際廃炉研究開発機構 (IRID)

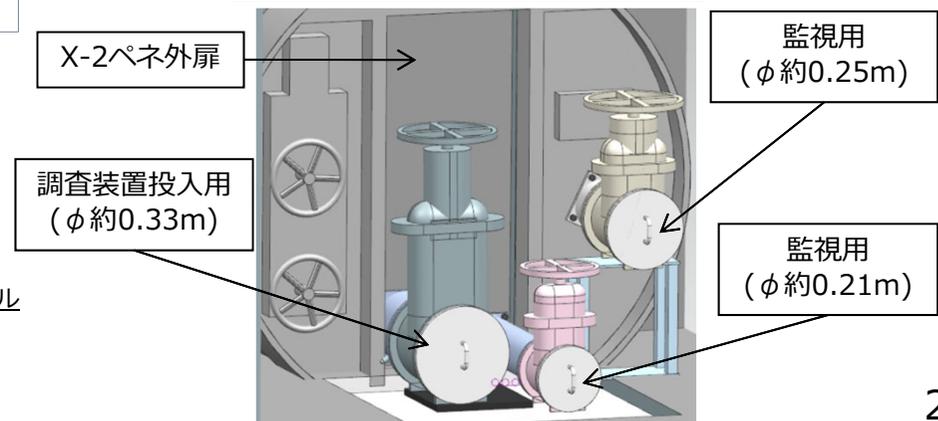
4. 水中ROV洗浄, 回収



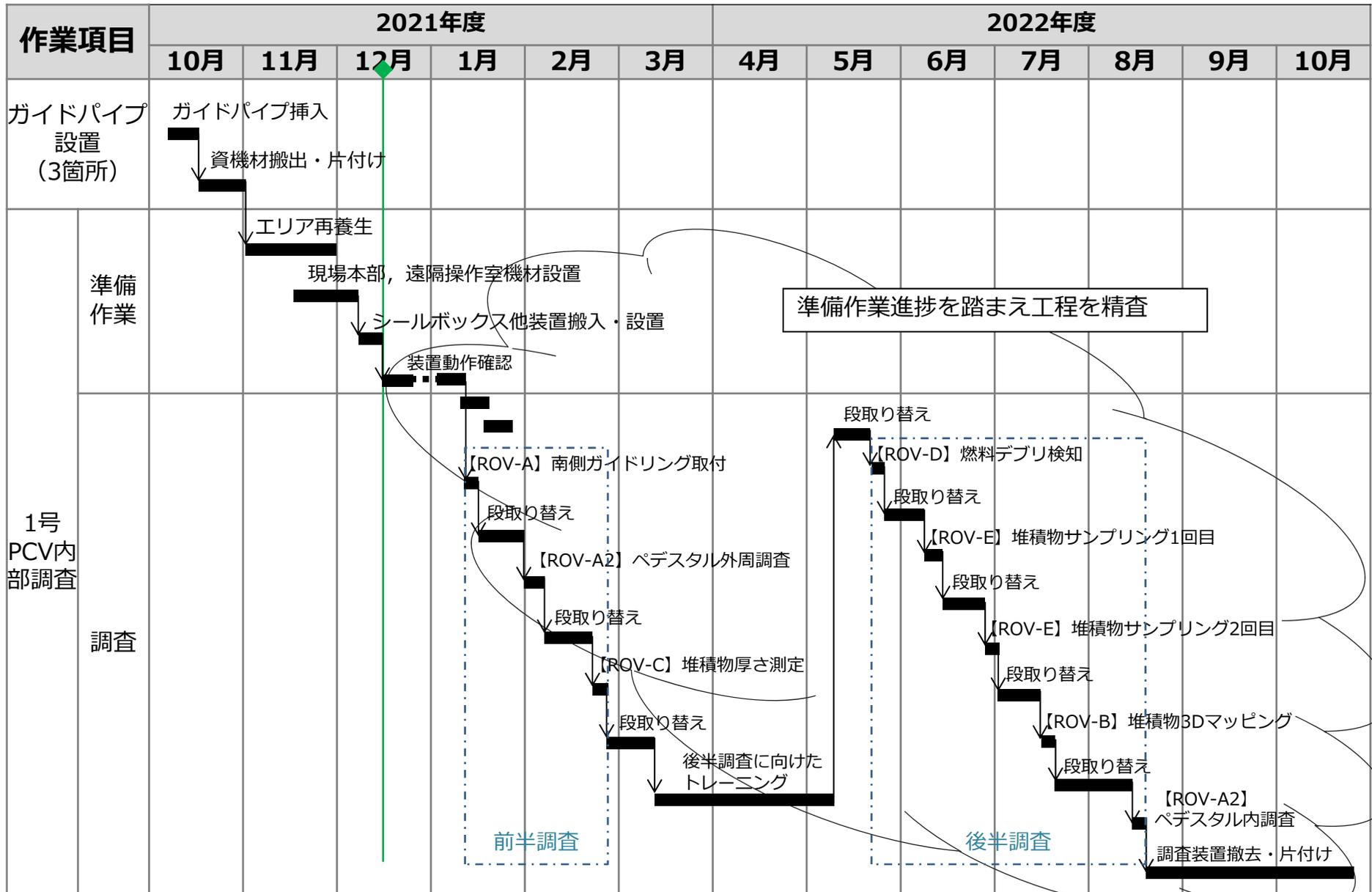
5. 調査装置撤去・養生



調査装置設置前及び撤去後のイメージ

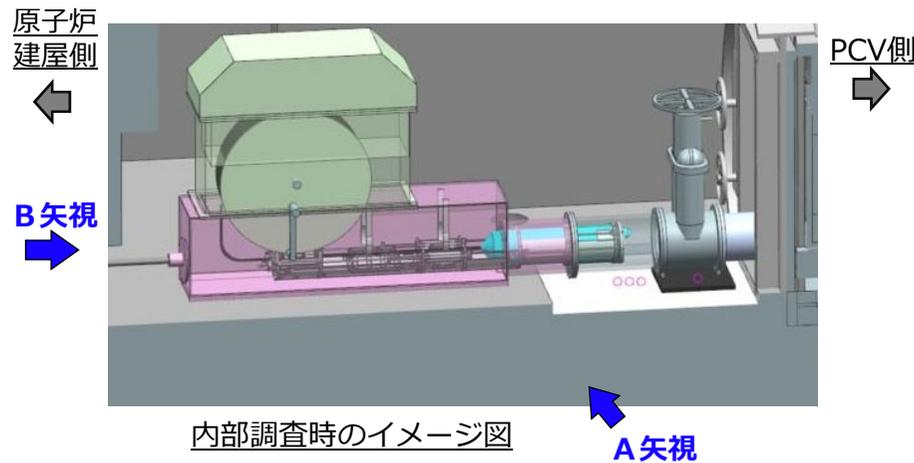


【参考】スケジュール



(注) 各作業の実施時期については計画であり、現場作業の進捗状況によって時期は変更の可能性あり。

【参考】シールボックス設置作業状況（12/10時点）



※撮影時は、ROV動作確認のため、シールボックスの隣にケーブルドラムを設置した状態（2021.12.10撮影）

